

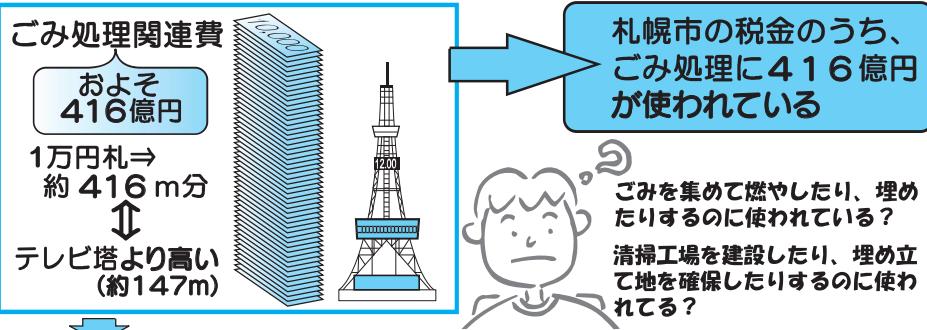
ごみ処理費用を取り上げ 健康な生活を守る市政を

[6学年「わたしたちの暮らしを支える政治」]

ここでは、札幌市のごみ処理に年間約416億円の税金が使われている事実を切り込み口として、個人でごみ処理をした場合と、税金を使ってまとめて処理した場合を比較しながら、まとめて処理することの良さに気付き、「みんなでやらなければならないことに、みんなから集めた税金を使う」との意義について考えていくことをねらいとしています。

(注)平成21年7月から家庭ごみ(燃やせるごみ・燃やせないごみ)の有料化が始まりました。この手数料収入は、「ごみ減量・リサイクルの促進」「環境教育・普及啓発の充実」「ごみステーション管理をはじめとした地域における環境活動への支援」などに充てられます。

(参考)札幌市HP>くらし・手続き>ごみ・リサイクル



どうして多くの税金を使ってごみを処理するのだろう?

自分で処理したら

- 燃やせば煙で空気が汚れる
- 埋めればにおいでたり、土が汚れ、環境が悪くなる
- 燃やしたり、埋めたりする場所が問題になる
- 再利用できる物まで捨ててしまう
- 処理に手間と費用がかかる

みんなでお金を出し合って

税

安心・快適な暮らし

市でまとめて処理したら

- 収集車で集めてもらえる
- 清掃工場でまとめて燃やすので環境にやさしい
- 再利用したり、資源としてリサイクルすることもできる
- まとめて処理するのでむだがない

環境や市民の健康を守るために、みんなが税金としてお金を出し合って処理しているんだ!

ごみ処理以外に、税金を市民の生活のために使っていることはないかな?

《活動例1》
◆学校の中で税金が使われているものについて調べてみよう

《活動例2》
◆冬の除雪費・雪対策費について調べてみよう

《活動例3》
◆消防・防災に使われている税金について調べてみよう

ゴミの量はどれくらい? 札幌市の家庭ごみは36.7万tです(令和5年度)。札幌ドーム約2.3個分
(36.7万t ÷ 367万m³ (比重0.1t/m³) 札幌ドーム約158万m³)

(参考)札幌市HP>くらし・手続き>ごみ・リサイクル

ごみ処理を支える税

~年間 416 億円をごみ処理に?~

除雪関連費用を取り上げ 安全な生活を守る市政を

[6学年「雪とともに生きる暮らしを支える政治」P58~63]

世界的に見ても、ひと冬に約5m*の雪が降りながら、約197万人の人口がある都市はありません。

このような気象状況の中でも、市民の快適な暮らしや円滑な経済活動を守るために、札幌市ではひと冬に約276億円の税金を使い、車道や歩道の除雪などを行っています。

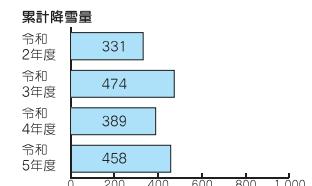
子供たちが年間約276億円の税金をどのように除雪に使っているのかを調べ、考えることを通して、除雪の問題を身近な問題として考えることができるのです。

*平成3年から令和3年度の平均値

除雪を支える税

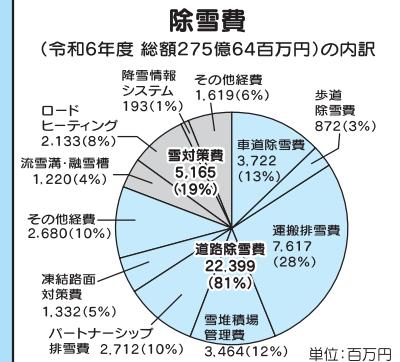
~札幌市の除雪は世界一?!~

札幌市の累計降雪量と除雪費の推移



板書例

税金は除雪にどのように使われているの?



札幌の除雪は世界一の除雪だね!

札幌市の除雪にかかるさまざまなデータ

- 車道除雪延長 5.400km
- 歩道除雪延長 3.000km
- 融雪槽・管設置数 11施設
- 排雪量 1.800万m³
- 年間除雪予算 276億円



調べ学習には以下のHPも参考になる

北海道雪たんけん館
<https://hokkaidogaku.org/yukipro/>

札幌市雪対策室
<https://www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki/>